

第1回臨時議会報告その2



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市会議員
藤田正雄 Tel.55-1527

補正予算 農業支援事業や庁舎3階スペースの活用で議論

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

広域議員等決まる

広域行政事務センター議員	
議長	磯谷 晃
総産建副委員長	細野正行
総産建委員	鏑田 明
議長指名	山脇正孝

湖北消防組合議員	
議長	磯谷 晃
総産建委員長	矢野邦昭
議長指名	山口久志
議長指名	堀江一三

前回報告した11月9日の臨時議会で決まった議員構成と補正予算の審議状況については次のとおりです。

選出区分	会派	長浜米原議会連絡協議会
議長	天	磯谷 晃
副議長	天	中川松雄
会派	天	鹿取和幸
会派	天	矢野邦昭
会派	共	山脇正孝
会派	マ	堀江一三
会派	マ	吉田周一郎
会派	天	鏑田 明

長浜水道企業団議員		後藤英樹
委員長等	会派	議会だより編集委員会
委員長	天	鹿取和幸
副委員長	無	山口久志
委員	無	振角大祐
委員	共	藤田正雄
委員	マ	中川雅史

補正予算の概要

執行部より提出された一般会計補正予算が賛成多数で可決されました。予算常任委員会の中で事業目的が不明確で実施にあたっては十分な検討をとる意見ができました。日本共産党議員団として内容に不十分な点があるが、農家や子育て世帯応援との趣旨には同意できるとして賛成しました。事業の概要は次のとおりです。

【コワーキングエリア事業】 補正額1千万円

予算の趣旨として移住やサテライトオフィス進出の契機創出を目的に本庁3階の市民活動スペースにワークキングエリアを新たに整備する経費として、新年度予算も予定しています。しかし現在の米原駅利用者の多くが乗り換え駅として利用されており、この施設が本来の目的に利用されるため

にはしっかりとした利用促進の対応が必要ではないかとの意見を述べました。＊ワークキングとは、独立して働くフリーランスや起業家、企業に所属していても働く場所を自由に選択しながら仕事をするノマドワーカーなどが事務所設備や会議スペースなどを共有し、それぞれの仕事を行うワークスタイルのこと。

【まいばら子育て応援米事業】 補正額1千9百69万6千円

コロナ禍において米の流通が停滞し、米価が下落する中で市が買い取り子育て応援米として義務教育以下の子供のいる世帯に1人10kg届ける事業としています。多くの議員から質問がでました。この事業で、米原市の農家にどのような形でメリットがあるのか。また義務教育世帯だけでなく高校生や大学生を抱える世帯も困窮している子育て応援と

かたへの「おトク」ポイント事業」と市内飲食店での「テイクアウト割引事業」800円以上の弁当を注文した場合500円の割引をするという事業です。

雑感

初議会から1億1400万円の一般会計補正予算の審議です。コロナ対策で国からの財源等がある事業とはいえ、生煮え感はあると感じました。今回、国が行う18歳以下の子供のいる家庭に支給される10万円給付についても目的が子育て支援なのか景気対策なのか、何なのか分からない事業となつています。誰かが言っていました。究極の公平性に対する選挙対策だ。来年の参議院選挙をにらんだ対応だ。そんなことで国民の税金が使われることは本当に許せない。またその予算の中にマイナンバーカードに保険証や銀行口座を紐付けるとポイントがつくというやり方。ますますマイナンバーカードが怪しくなってくる。まず個人情報報が漏れないことを真っ先に説明すべき。